

Sight & Sound

第2巻第1号



Lions Clubs International

本号の内容:

- 奉仕に光を - グローバル奉仕実施キャンペーン
- ライオンズ・アイバンク・ウィーク
- スポットライト: アイオワ・ライオンズ・アイバンク
- 聴力に光を: ライオンズ・ベアレイクキャンプ
- ライオンズ・グローバル人道奉仕使節団



視力を分かち合おう

奉仕に光を - グローバル奉仕実施キャンペーン

今年度の会長テーマ「希望の光」の焦点は奉仕です。

道に迷った人々や手助けを求める人々に希望の光を投げかける灯台のように、ライオンズは奉仕を通して世の中を照らしているのです。

今年度は、世界中でライオンズが奉仕の光をさらに活発にともすように、4つのグローバル奉仕実施キャンペーンが企画されています。4つのキャンペーンは次の通りです。

1. 青少年の参加を促そう (8月)
2. 視力を分かち合おう(10月)
3. 食料支援をしよう (12月/1月)
4. 環境を保護しよう (4月)

「ライオンズこそ、より良い明日をもたらしてくれる人たちだと人々が頼りにしていることを、私はライオンズに気付いてほしいのです。ライオンズは希望の光なのです。」

シド L. スクラッグスIII世

視力を分かち合おう- 奉仕事業のアイディア

今号では、2番目のグローバル奉仕実施キャンペーン「視力を分かち合おう」を特集します。10月中、ライオンズは視力喪失の原因となるものへの理解を深め、目の不自由な人々への支援を行うなど、直接奉仕活動への参加を推進しました。

「視力を分かち合おう」キャンペーンの事業案としては例えば以下が挙げられます。

- 2010～2011年度の「平和が生み出す力」作文コンテストに応募する、目の不自由な生徒のスポンサーとなる
- ボーリング、魚釣り、水泳など、視力障害を持った人々を対象としたスポーツやレクリエーション活動を企画する。
- 地元のアイバンクに連絡をしてパンフレット等を取り寄せ、ドナーとなることを奨励するように地域でプレゼンテーションを行ったり、情報の共有を図る。

さらに多くのプロジェクトアイデアを得るには、www.lionsclubs.orgの検索ボックスで「視力を分かち合おう」をサーチしてください。使いやすい「企画ガイド」も入手していただけます。

新しくなったアクティビティ報告を利用してグローバル奉仕実施キャンペーン事業を報告するクラブおよび地区は自動的に2010～2011年度希望の光アワードの受賞候補となります。





ライオンズ・アイバンク・ウィーク

「ライオンズ・アイバンク週間」は、12月の第1日曜日以降の一週間です。この期間は、ライオンズにアイバンクの活動について学び、どうしたら支援に参加できるかを理解する機会を提供します。活動は上記の日程に限りません。クラブやコミュニティの事情に応じて、自由に関連事業の日程を設定してください。

ライオンズ・アイバンク週間はいろいろな奉仕の機会を提供します。

- クラブのアイバンクツアーを企画する。
- クラブ例会や地区の会議にアイバンクから講演者を招く。
- 地元のアイバンクの一般公開イベントの主催や参加
- などなど… さらに詳しい情報は「ライオンズ・アイバンク週間」から。

今日、世界中に60以上の公認ライオンズ・アイバンクがあります。ライオンズの献身的な努力により、何千人もの男性、女性、子供たちが、「光の贈り物」をこれまで受け取ってきました。

ライオンズの支援がいかに大切か、角膜移植により視力の贈り物を受け取ったリサ・ジョンソンの感謝の言葉は何よりの証拠でしょう。

「献眼というのは、人の死という悲劇を、視力の復活という誰かの喜びに変えることができる、医療の分野で数少ない機会だと私は思うのです。」

アイオワ・ライオンズ・アイバンク理事長・ライオン・シンディ・リード博士

スポットライト: アイオワ・ライオンズ・アイバンク

アイオワ・ライオンズ・アイバンク (LEB) は米国アイオワ州のアイオワ大学病院および診療所の眼科・視覚科学学科に付属しています。アイオワのライオンズクラブによる55年間にわたる支援に恵まれ、アイバンクは順調に運営を広げており、視力保護のための手術に使われる眼組織の提供やリサーチを通じて視力問題の答えを出す手助けに献身的であるだけでなく、数多くの協力者に感謝の意を示すことも忘れません。



ドナー庭園の水彩画 (アイオワ・ライオンズ・アイバンク所蔵)

2005年に、角膜、臓器などの提供をした方々、移植を受けた人々、そして移植、輸送、研究その他、この事業を支援するあらゆる努力とそれに携わる人々を称え、祝福する目的で、アイオワ・ライオンズ・ドナー記念・いやしの庭園が完成しました。

2010 スライド・ショーでこの庭園での記念式典がご覧いただけます。(このスライドのバックに流れる音楽は、臓器提供者のご主人が作曲し、演奏されました。)



アイオワ・ライオンズ・アイバンクの運転者の忙しい一日が始まります!

54年間にわたり、アイオワ州パトロール隊は、アイオワ・シティーにあるアイバンクまで、州の西側から提供された角膜等の輸送を提供してきました。2009年6月、州予算の削減によりこのサービスを停止せざるを得なくなり、アイバンクは輸送手段を失う窮地に立たされました。しかし、アイオワ・ライオンズのボランティア、アイオワ・ライオンズ・アイバンクのスタッフ、そしてウイスコンシン州のライオンズ・アイバンクのジェリー・ラバック元ガバナーのおかげで、この問題は解決したのです! 現在、アイオワ・アイバンクのために、2つの輸送プログラムがけ躍しています。

- **アイオワ・セントラル・ライオンズ輸送プログラム**は、5人のコーディネーターと111人の運転者から成り、エイメスとデモインからアイオワ・シティーのアイバンクまで、提供された眼組織の輸送を行っています。
- **アイオワ東部ライオンズ輸送プログラム**はアイオワ・シティーのアイバンク研究施設から、特別に切除された角膜組織をウイスコンシン州の執刀医のもとへ届けるために設立されました。輸送チームは6人のコーディネーターと52人の運転者から成り、アイオワ・シティーのアイバンクから、ウイスコンシンとアイオワの州境にある「ビジター・センター」で待つウイスコンシンのライオンズの輸送者にその特別に切除された角膜組織を手渡すまでの輸送を行います。ウイスコンシンのライオンズはそこから角膜組織を必要とする執刀医のもとまで届けて輸送を完了させます。

アイオワの輸送車にとって、それぞれの輸送は片道およそ50マイルの道のりです。アイオワ・ライオンズ・アイバンクの輸送運転者となるためには、各ライオンズは保険や運転記録などの書類を提出して申し込まなければなりません。もしあなたも運転者としてこのプログラムに参加したいとお考えなら、特別スライドショーでアイオワライオンズ輸送プログラムの記録をぜひご覧ください。



聴きに光を：ライオンズ・ベアレイク キャンプ

2010年7月、ライオンズ・ベアレイクキャンプ委員会は、米国ミシガン州ラピーアのこのキャンプの10周年記念を祝いました。ミシガンのライオンズとその家族が参加し、ツアーやケーキ、キャンプを支えてきた仲間のライオンズとの交流を楽しみました。このキャンプは、米国税法501C-3が適用される非営利団体であるライオンズ・視覚不自由者ユース・キャンプ社により運営され、ミシガン州全体のライオンズ、ライオネス、およびレオの支援を受けています。

聴覚障害者ユース・キャンプは、6歳から15歳までの子供たちのために行われました。キャンプ責任者であるライオン・デニス・トムキンスによると、このキャンプ参加者は全員、人工内耳の移植または補聴器を使用しているそうです。およそ60人の子供たちが、聴覚障害者の教師たちにより開発・コーディネートされたこの1週間のキャンププログラムに参加しました。

このプログラムはコミュニケーションの手段としての聴く・話すという行為で特別な配慮が必要な子供たちのニーズを満たすためのものです。目標は、楽しみながら語彙を増やし、聴覚の使い方を育て、言葉を使ったコミュニケーションのほか、様々なコミュニケーションの経験を促進することにあります。プログラムには次のような活動が含まれます：乗馬、水泳、ボート、ハイキング、工作、自然活動、アーチェリー、チームづくり、テントでの野営、ゲームや劇など。ライオンズ・ベア・レイク・キャンプはまた、視覚障害のある若者に2週間のキャンプを提供しています。

ライオンズはキャンプを財政的に支えているばかりでなく、様々な形で直接活動に参加しています。

- 遊歩道や広場の清掃、キャビンのペンキ塗りや網戸と建物の掃除などを行う「働きバチ」活動に参加する。
- キャンプはよく停電にみまわれるので、その問題解決のため、レイク・オリオン・ライオンズクラブはバックアップの発電機を設置した。
- キャンプ実施中には、クラブは食事を提供したり、アイスクリーム・パーティを企画したりする。
- 「ガバナーの日」には、新任の地区ガバナーがキャンプをツアーし、キャンプ参加者とともに昼食と特別プログラムを楽しむ。



およそ60人の子供たちが、聴覚障害者の教師たちにより開発・コーディネートされたこの1週間のキャンププログラムに参加しました。





ライオンズ・グローバル人道奉仕使節団



2010年 ハイチ

人道奉仕使節団に参加していますか？ または、どうしても参加できるのか、興味がありますか？ **新しいウェブページ**、**ライオンズ人道奉仕使節団**をご覧ください！

2010年のシドニー国際大会のセミナーでは、グローバル人道奉仕についての経験、知識、アドバイスをライオンズが共有しました。デニス・コブラー元国際理事、OD&カルロス・ジャスティニアノ、ジョエル・ゴメス協議会議長、リンダ&ウォルター・グリフィン元ガバナーほかがプレゼンターを務められました。ぜひライオンズグローバル人道奉仕使節団への参加のパワーポイントプレゼンテーションをご覧ください。また、www.lionsclubs.org から「ベストプラクティス」と検索ボックスに入力してみてください。



子供たちは眼鏡を心待ちにしています。

ご意見をお寄せください。

みなさんのコミュニティで活用できるようなアイデアや情報を提供したいと願っています。本ニュースレターへの提案や、次号で取り上げてほしいといった話題がありましたら、ぜひご連絡ください。ご意見、ご感想もお待ちしております。

ライオンズクラブ国際協会
保健及び児童奉仕課
300 W. 22nd Street
Oak Brook, IL 60523-8824 USA
電話： 630-571-5466
Fax: 630-571-1692
Eメール: programs@lionsclubs.org
ウェブサイト: www.lionsclubs.org